

(学年) 第2学年、(教科・科目) 国語科

協働学習

(単元) 立場を尊重して話し合おう

(本時のねらい)

これまで「根拠の適切さを吟味する」ことの大切さについて理解を深め、文章を読んだり、相手の話を聞いたりするときには、筆者や相手の意見が何に基づいているのかという根拠を把握する必要があることを学習してきた。意見の説得力を高めるに、客観的な事実や信頼性の高い情報を示すことや、複数の事実や統計結果を示すことはできている。しかし、示した事実や情報がどのように意見を支えているかという意見と根拠のつながりを明確にすることは未だ難しい。

本時では、「根拠の適切さを吟味する」という既習した内容を振り返りながら、意見と根拠のつながりに着目し、ディベート活動を通して、自分の立場(意見)の根拠に適した情報を選び、そこから論点になりそうなことは何かを考える。また、自分の立場だけではなく相手の立場についても考えることで、同じデータを示したとしても「意見と根拠をつなぐ考え」によって意見が変わることに気づくようにする。

(ICT活用方法)

電子黒板と一人一台端末を利用した。電子黒板では、デジタル教科書や討論のテーマについて共通理解をしておかなければならないものを提示した。また、一人一台端末を利用し、グループで分担しながらテーマに関する情報収集を行った。従来、情報収集したものを印刷したり、メモしたりし、後でそれらを整理するため、時間がかかっていたが、必要だと思った情報はブックマークをするなど工夫し、整理時間を短縮することができた。

(本時の展開)

時間	学習活動	指導上の留意点	ICT活用方法
導入 10分	・ 前時の復習と本時の確認をする。		・ 電子黒板を使ってデジタル教科書を提示する。
展開 35分	・ 自分の立場の根拠に適した情報を収集し、整理する。 ・ それぞれで収集した情報をグループで共有し、根拠に適した情報を選び、論点になりそうなことを整理する。	・ 共通理解しておかなければならないことを確認し、板書する。 ・ 調べたものはブックマークするよう促す。 ・ 主観的に判断するのではなく、集めた情報を吟味して、意見を支える適切な根拠を取捨選択し、まとめるよう促す。	・ 電子黒板を使って、テーマに関連するものを提示する。 ・ 一人一台端末を使って調べる。 ・ 調べた情報を互いの一人一台端末で見せ合い、他者の意見を参考にする。

まとめ 5分	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本時の振り返りと、次時に向けて、論点になりそうなことをもとに、異なる立場の意見や根拠はどうかを考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次時の内容を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 電子黒板を使って、デジタル教科書を提示する。
-----------	---	---	--

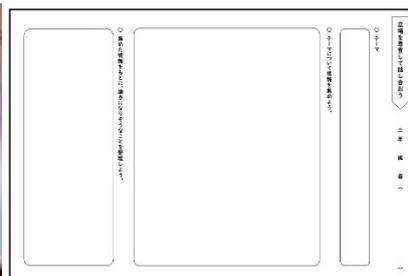
(授業の様子)



生徒の様子



板書と電子黒板



使用したワークシート

(生徒の反応と課題、改善を要する点)

一人一台端末を使用したことで、情報収集したり整理したりする活動をスムーズに行うことができていた。また、グループで情報を共有していくなかで、共通の情報や類似したものを確認することができ、情報の客観性や信頼性を確認することができていた。情報収集・整理がスムーズにできたことにより、論点になりそうなことを整理する時間を十分に確保することができ、自分たちの意見や根拠を丁寧にまとめることができたのではないかと考える。

しかし、話し合いは十分に行うことができたが、それをそれぞれ言葉で書き留めておくことができなかった。そのため、グループで1枚のワークシートを用意し、個人で記入していくのではなく、話し合いのなかでグループでまとめていくようにし、次時にスムーズに進めるようにする必要がある。